

2016年11月18日

フラグシップ
**森永製菓の旗艦工場 高崎森永(株)が
食品安全システム「FSSC22000」認証を取得**

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井 徹）は、11月17日、グループ生産会社でありフラグシップ工場と位置付ける高崎森永(株)（群馬県高崎市、代表取締役社長・池田 弘）において、食品安全システムに関する国際認証規格「FSSC22000」の認証を取得いたしました。

「FSSC22000」は、世界標準の食品安全マネジメントシステムのひとつで、国際規格ISO 22000 (HACCP+ISOによるマネジメント) と、フードディフェンス及び前提条件を明確化したISO/TS 22002-1を統合したもので、世界的な食品メーカーと流通業が中心となって設立した非営利団体『国際食品安全イニシアチブ (GFSI : Global Food Safety Initiative)』により食品安全の認証スキームの一つとして承認された国際的な規格です。

森永製菓は、「おいしく、たのしく、すこやかに」の企業ビジョンに基づき、食の安心安全の徹底と、お客様を含む全ステークホルダーの信頼向上に、日々努めております。高崎森永(株)は、「ハイチュウ」「森永ビスケット」シリーズなどの森永製菓の代表的商品を安心安全且つ効率的・安定的に製造供給するフラグシップ工場として、2011年より稼働を開始いたしました。今回、食品工場である森永製菓(株)三島工場（2016年10月認証取得）に続いて、当社グループでは2件目の取得となります。当社グループでは、引き続き、その他の自社工場並びにグループ生産会社についても認証取得を進めてまいります。

森永製菓では、今後も品質保証レベルの向上に取り組み、商品の安全管理体制を強化し、お客様により一層安心してお召し上がりいただける商品をお届けするべく努めてまいります。



◀ 高崎森永株式会社